



Instagramからみたコロナ禍における 都心部の都市公園の捉えられ方 — 大阪市鞆公園を事例として —

研究背景および目的

研究背景

- ・ 不要不急の外出自粛が求められる中、身近な公園の利用者は増加し、その必要性が改めて認識されている
 - ・ コロナ禍で人々が公園をどのように捉えているかを視覚的に分析
- 利用者が求める公園像を探ることができる

Instagram

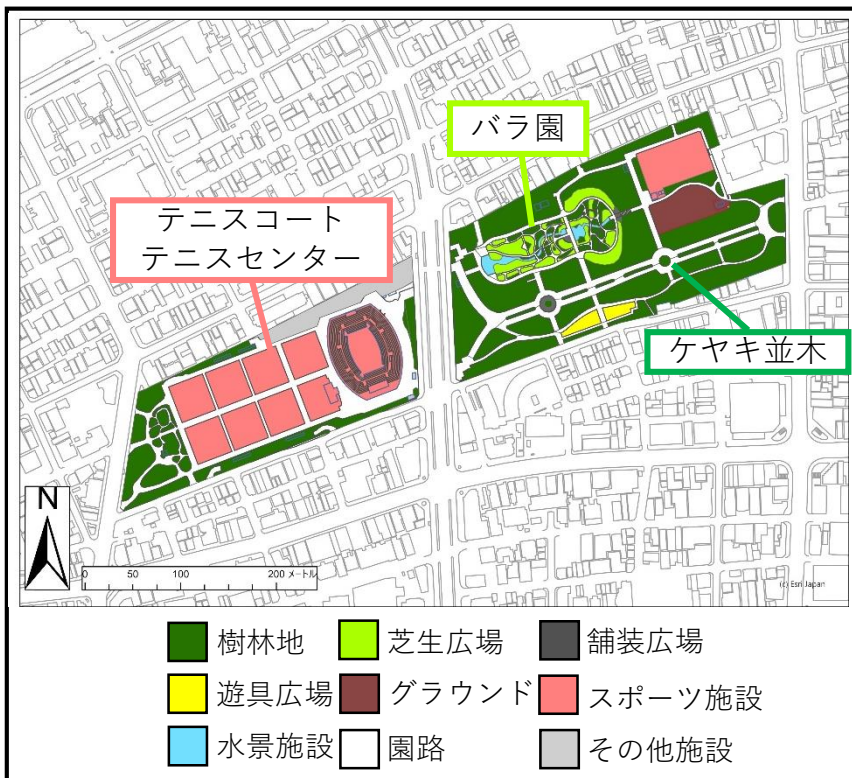


- ・ 開発年：2010年
- ・ 特徴：写真や動画などのビジュアルコミュニケーション
→ 自分らしさを表現できるツール
- ・ 利用者数：世界で10億人（2018年6月）
日本で3,300万人（2019年3月）

研究目的

Instagramを用いてコロナ禍における都心部の都市公園の捉えられ方を明らかにする

調査対象投稿の抽出方法

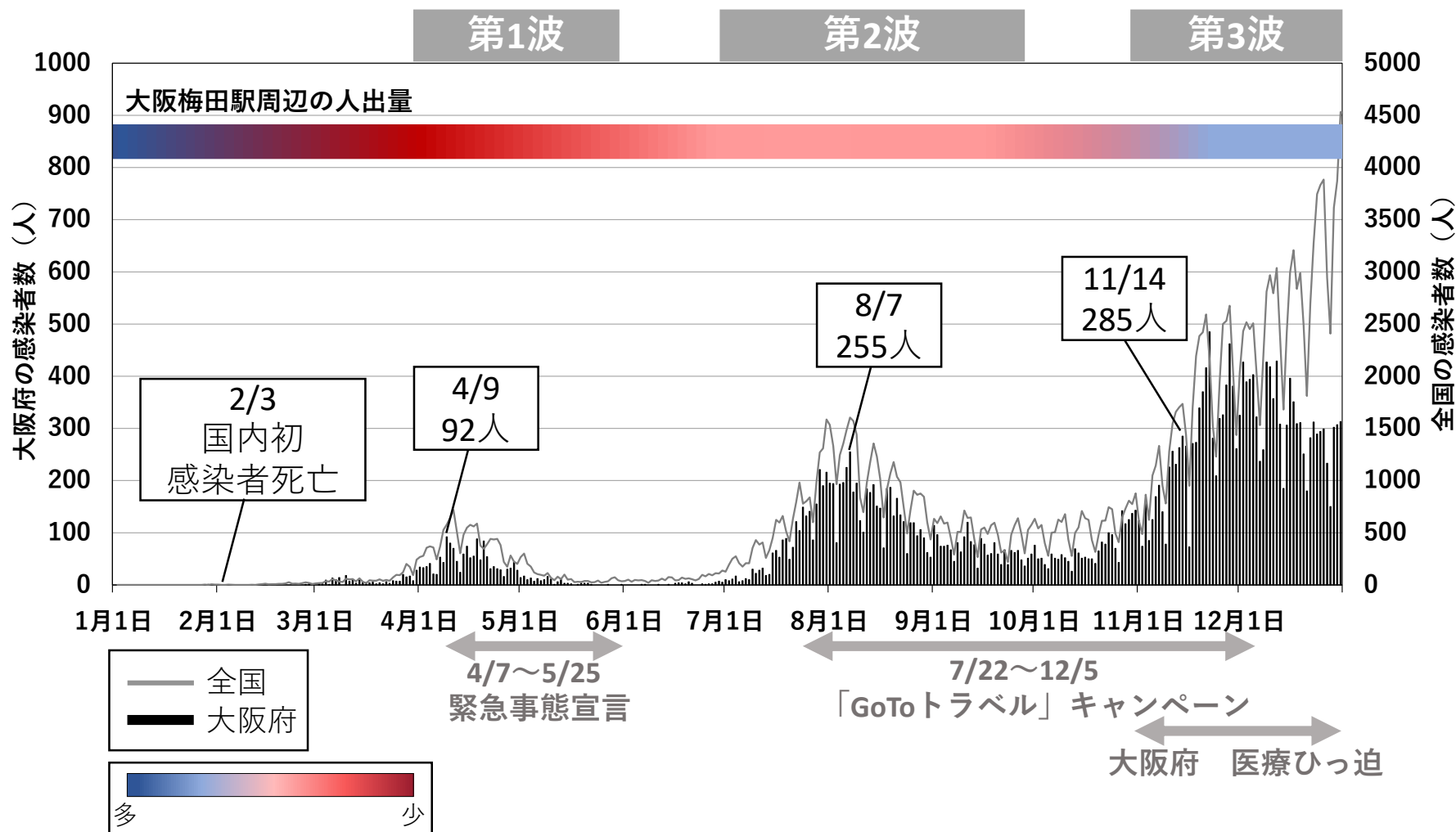


韮公園の整備内容

対象SNS	Instagram
検索ワード	#韮公園
収集日時	2021年9月18日～11月25日
対象期間	対象年：2019年（コロナ発生前） 2020年（コロナ禍） 対象月日：2月1日～15日（冬） 5月1日～15日（春） 8月1日～15日（夏） 11月1日～15日（秋）
対象投稿	韮公園が撮影されている投稿 ※対象外：動画、宣伝目的の投稿
対象件数	2019年：429件 2020年：407件

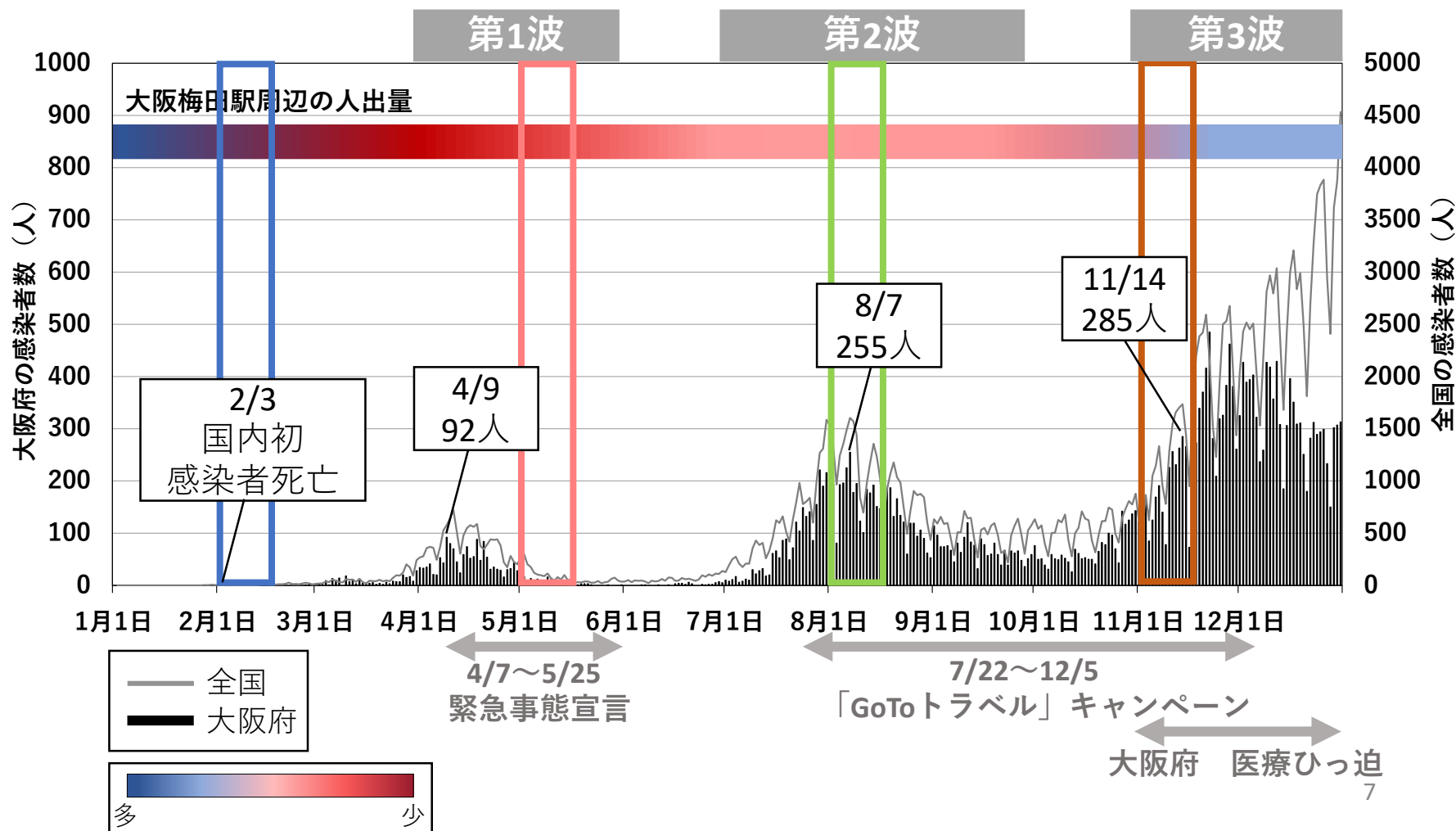
コロナ禍の社会情勢

コロナ禍の社会情勢→2020年1月～12月までの感染者数と人出量の推移、
主な出来事を時系列に整理
(データ：厚生労働省とNHKのオープンデータ)



コロナ禍の社会情勢

コロナ禍の社会情勢→2020年1月～12月までの感染者数と人出量の推移、
主な出来事を時系列に整理
(データ：厚生労働省とNHKのオープンデータ)



Instagramに投稿された景の捉えられ方の調査方法

景の抽出方法（2020年8月の投稿の1例）



異動（大阪→横浜）
今日から横浜で働く
大阪の生活圏は理想にかなったところだったので
とても名残惜しい。そんななかで印象的なのが靱
（うつぼ）公園。ケヤキの木漏れ日が癒してくれ
た。横浜の新居は見晴らしの良い明るい部屋

景の分析項目

- ・ 視界の広がり 単体景：対象単体
 空間景：公園の空間
 全体景：公園全体や園内から園外への建物・空など
- ・ 図の要素：主題
- ・ 構成要素：景を構成する要素すべて

Instagramに投稿された景の捉えられ方の調査方法

景の抽出方法（2020年8月の投稿の1例）

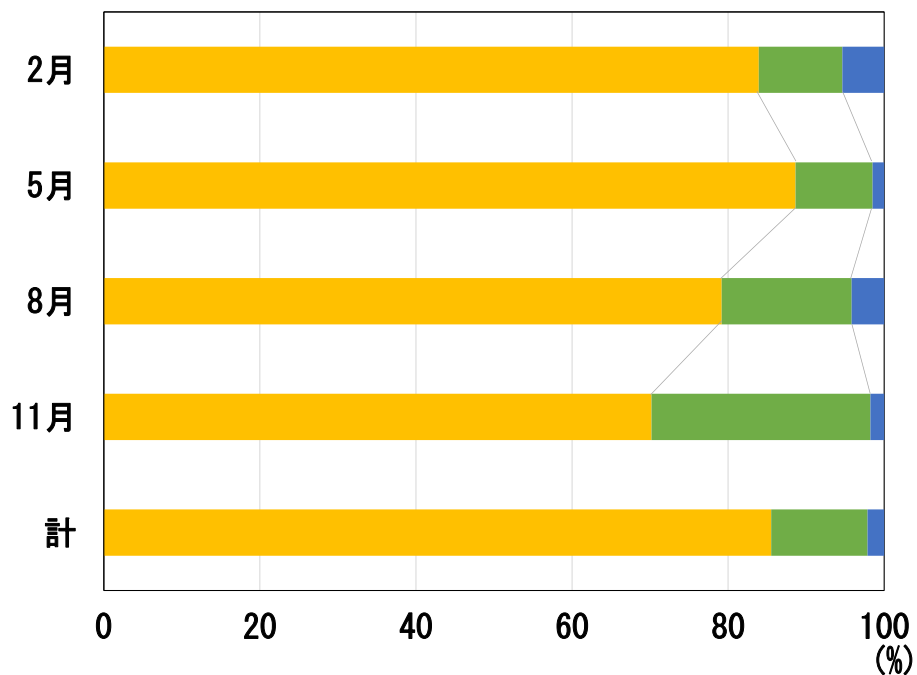


景の分析項目

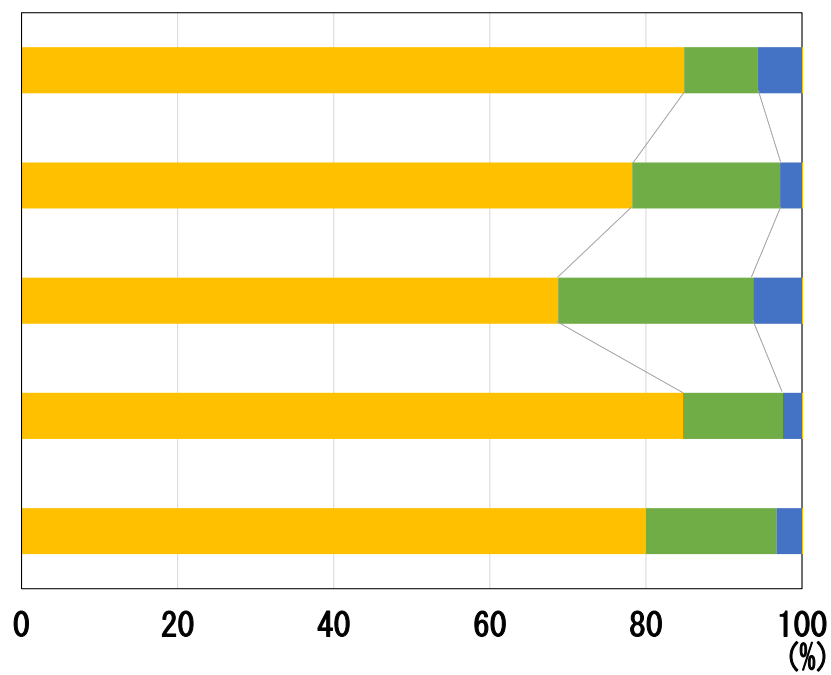
- ・ 視界の広がり 単体景：対象単体
空間景：公園の空間
全体景：公園全体や園内から園外への建物・空など
- ・ 図の要素：主題
- ・ 構成要素：景を構成する要素すべて

景の捉えられ方：視界の広がり

2019年



2020年



単体景



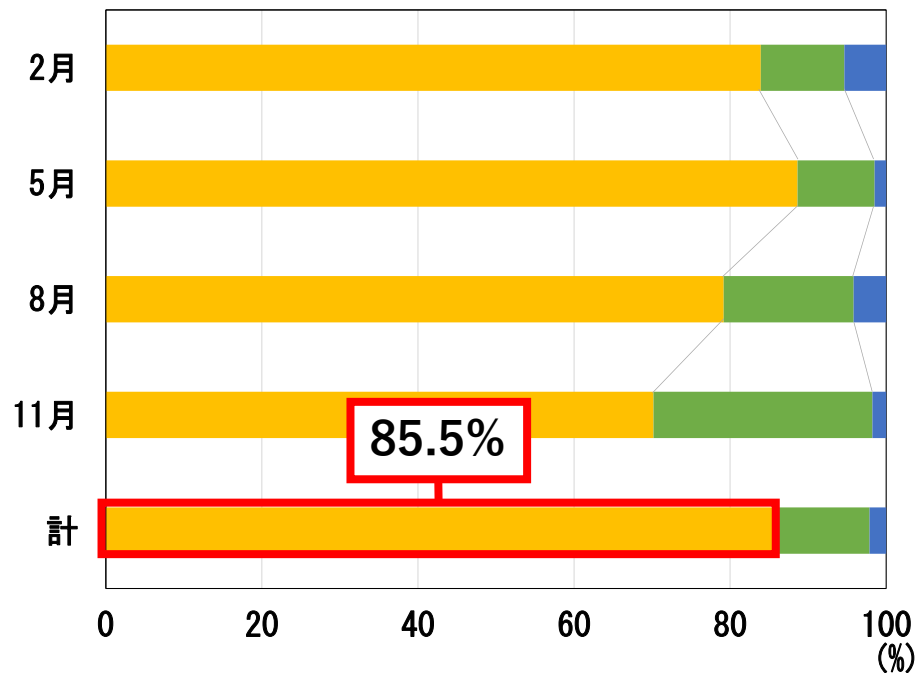
空間景



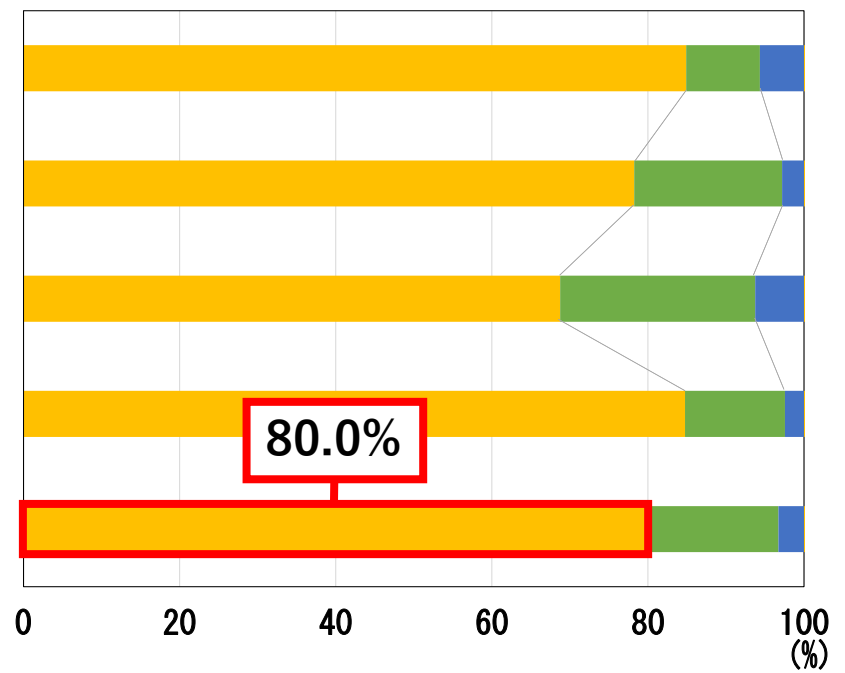
全体景

景の捉えられ方：視界の広がり

2019年

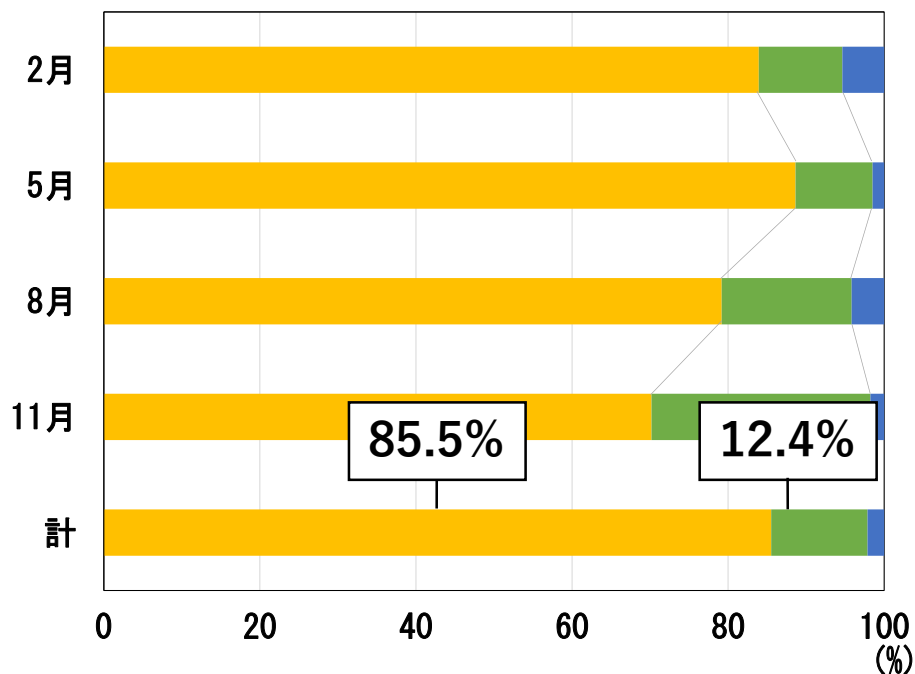


2020年

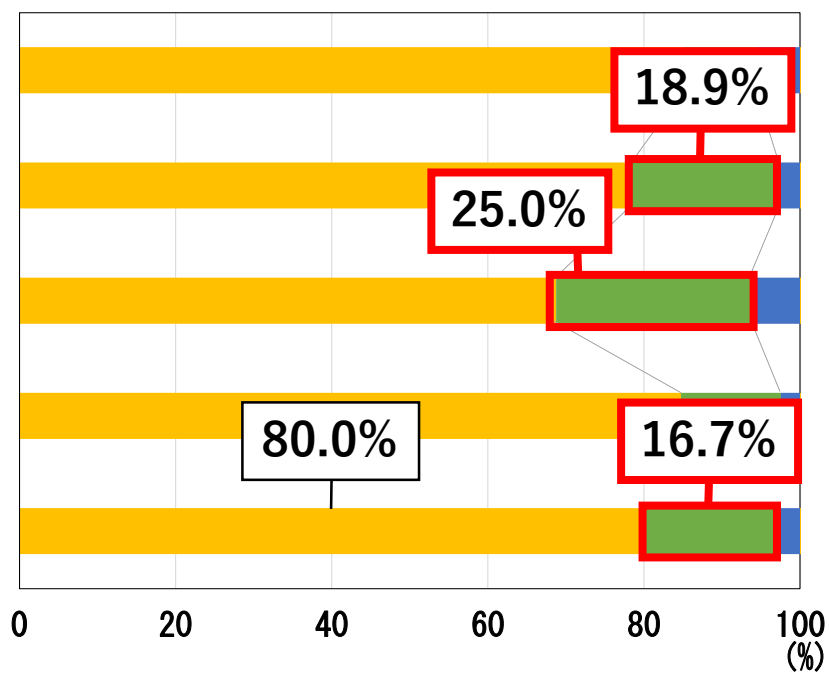


景の捉えられ方：視界の広がり

2019年



2020年



単体景



空間景

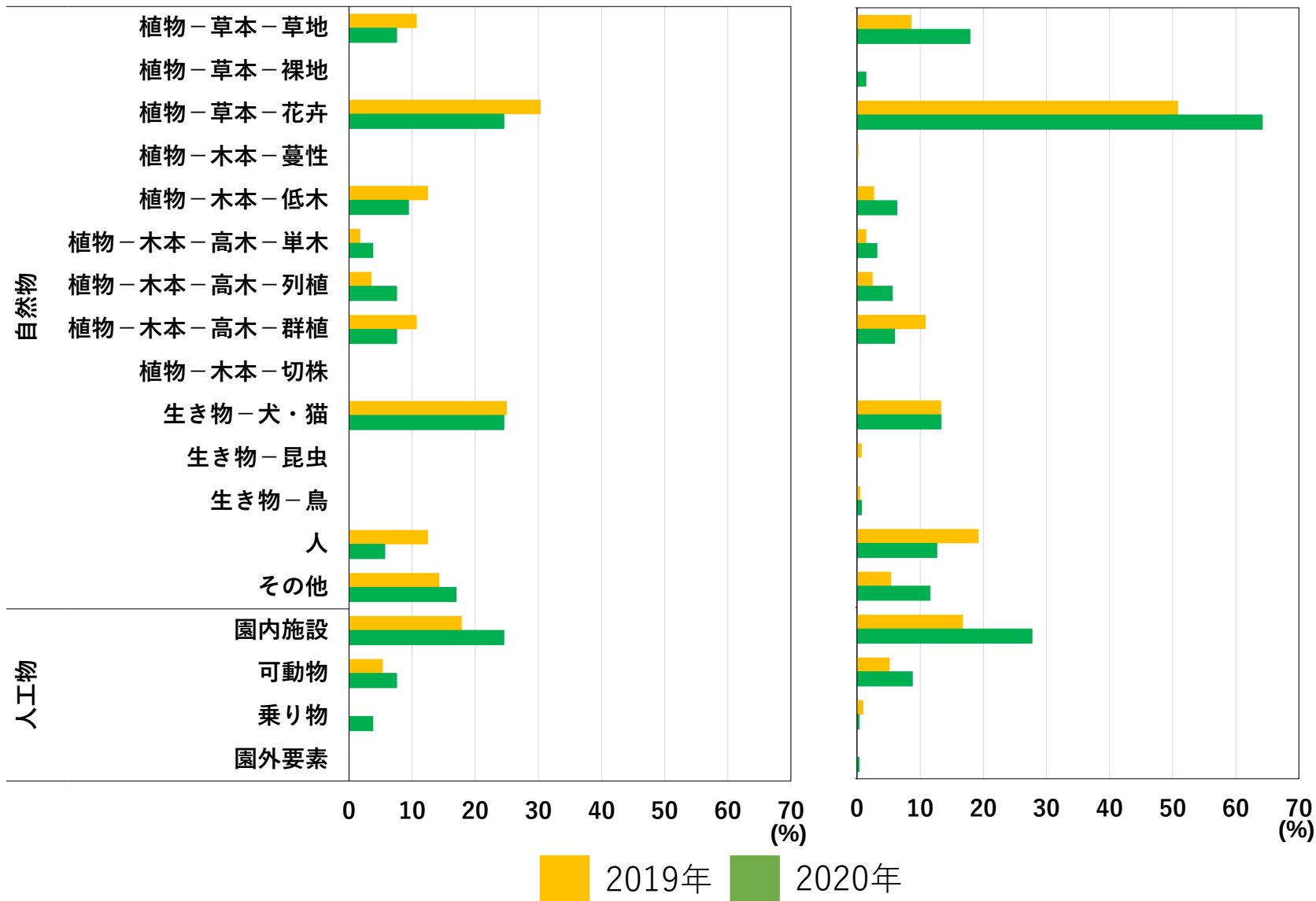


全体景

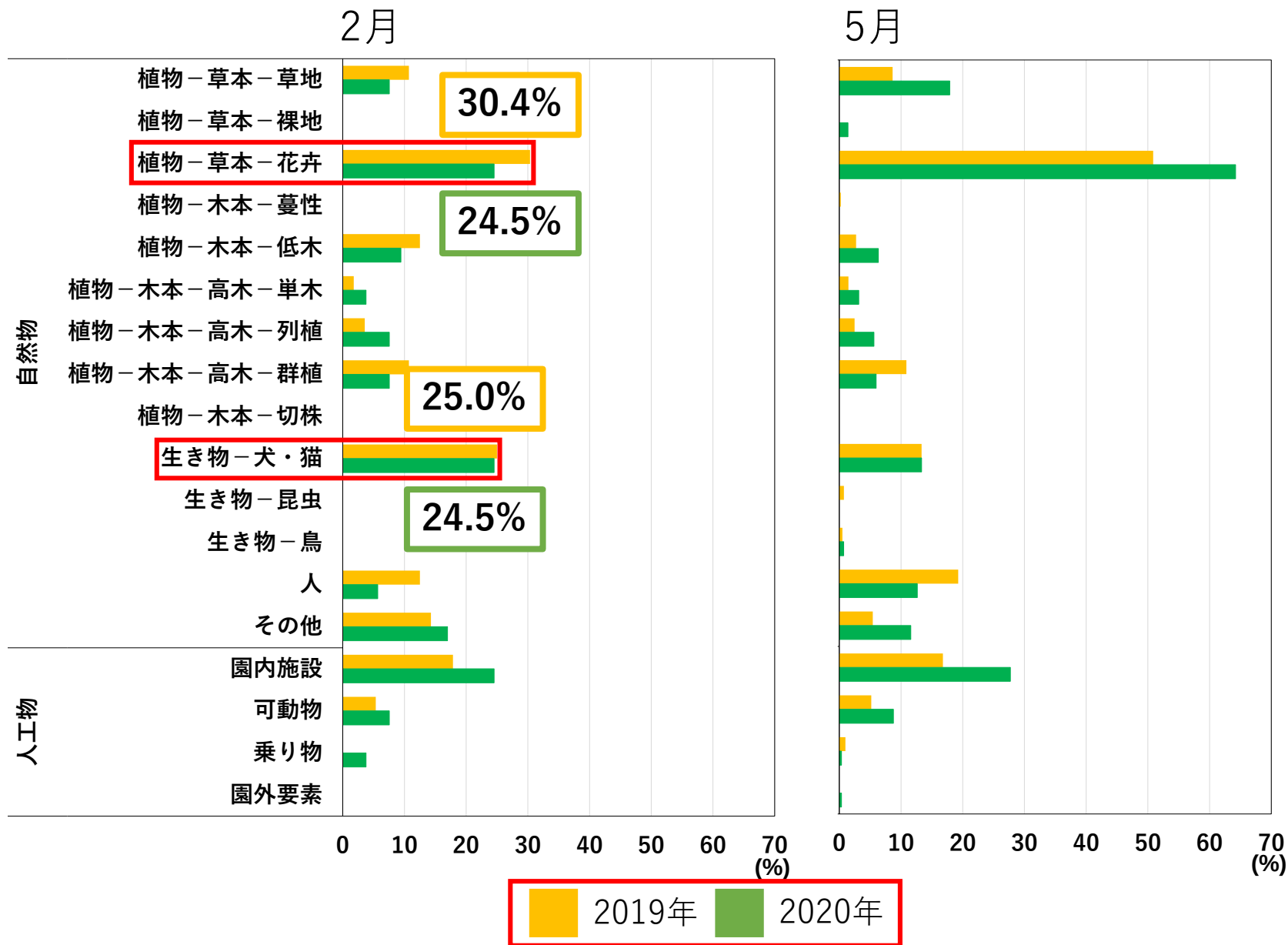
景の捉えられ方：図の要素

2月

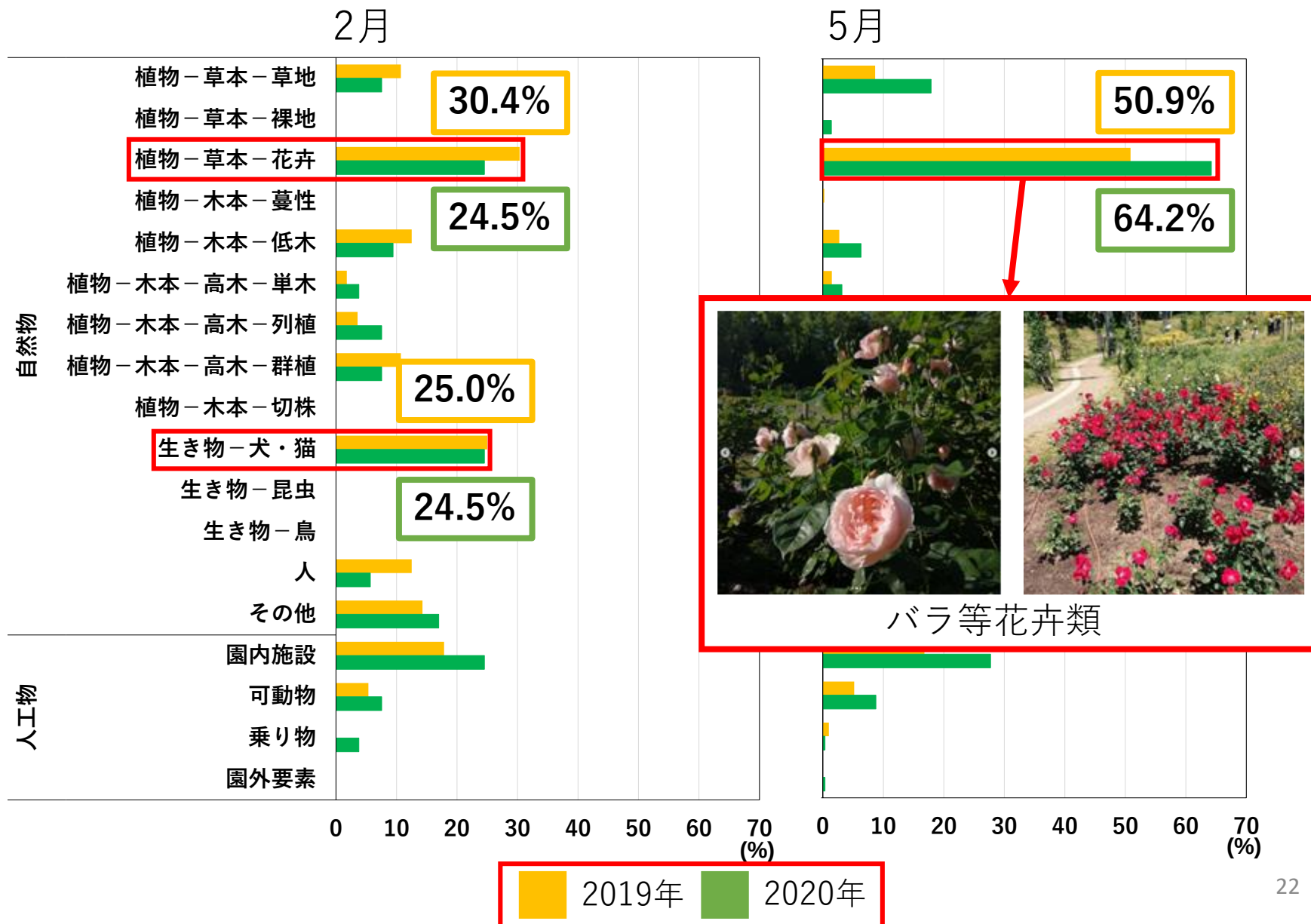
5月



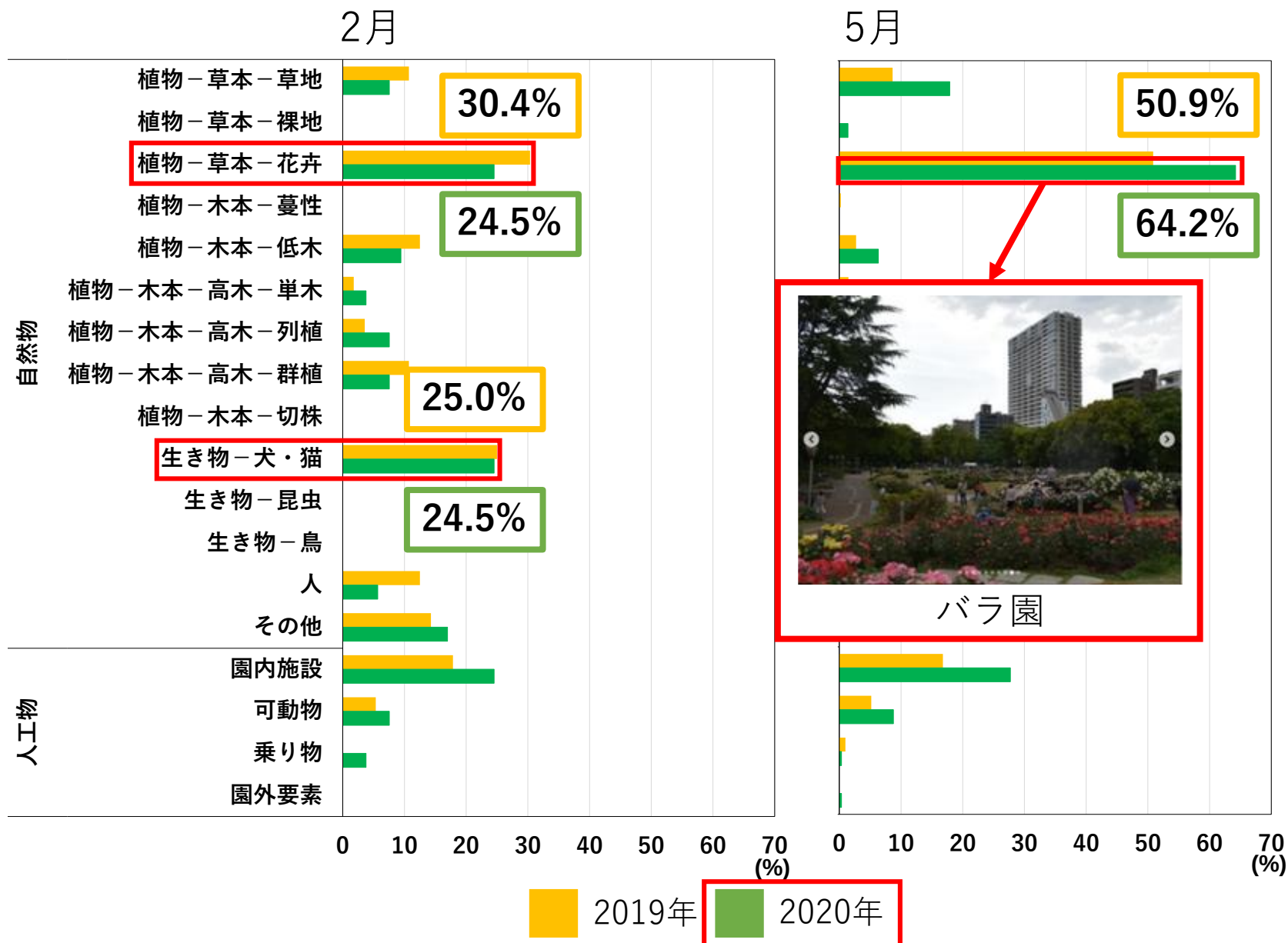
景の捉えられ方：図の要素



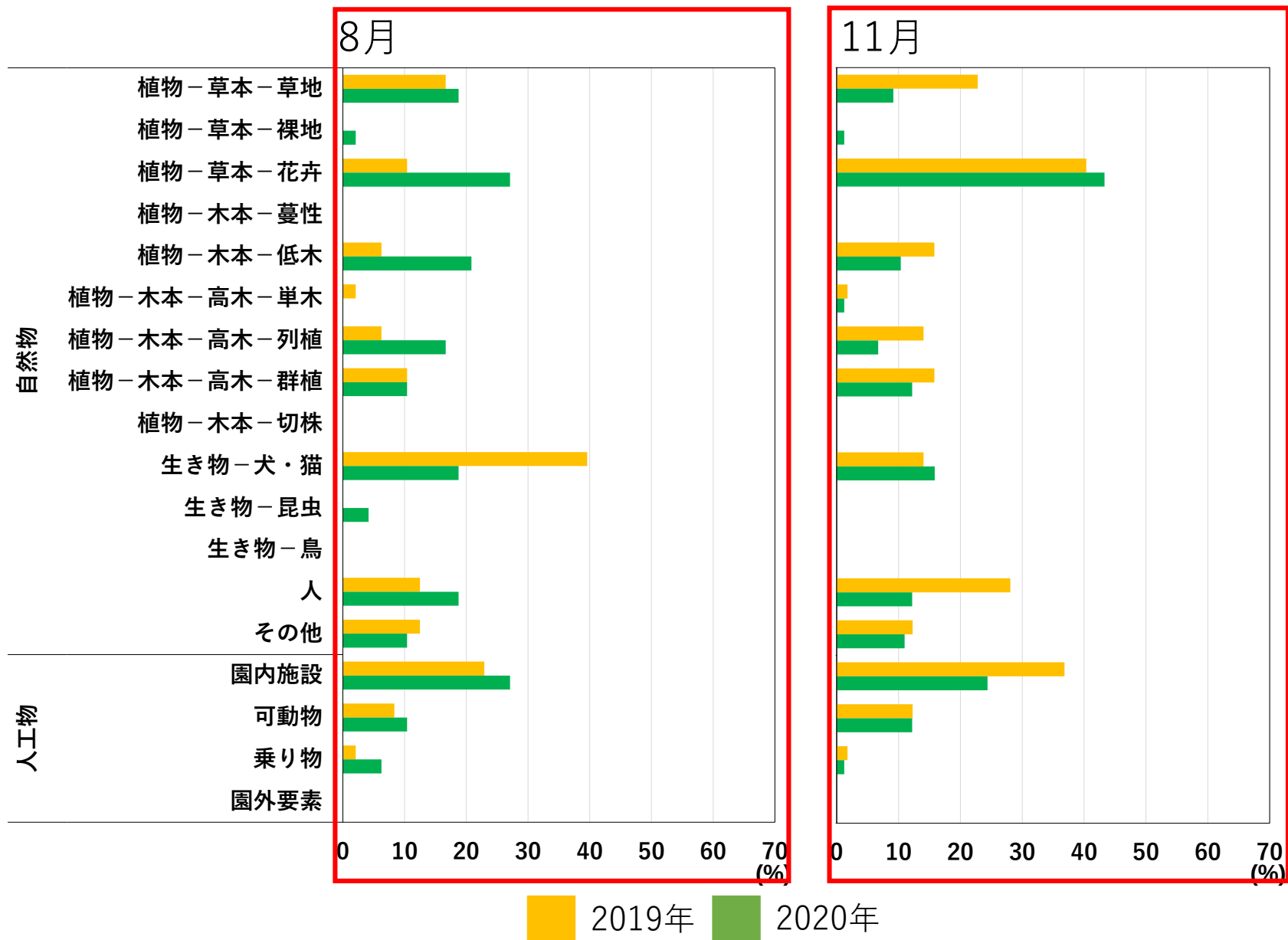
景の捉えられ方：図の要素



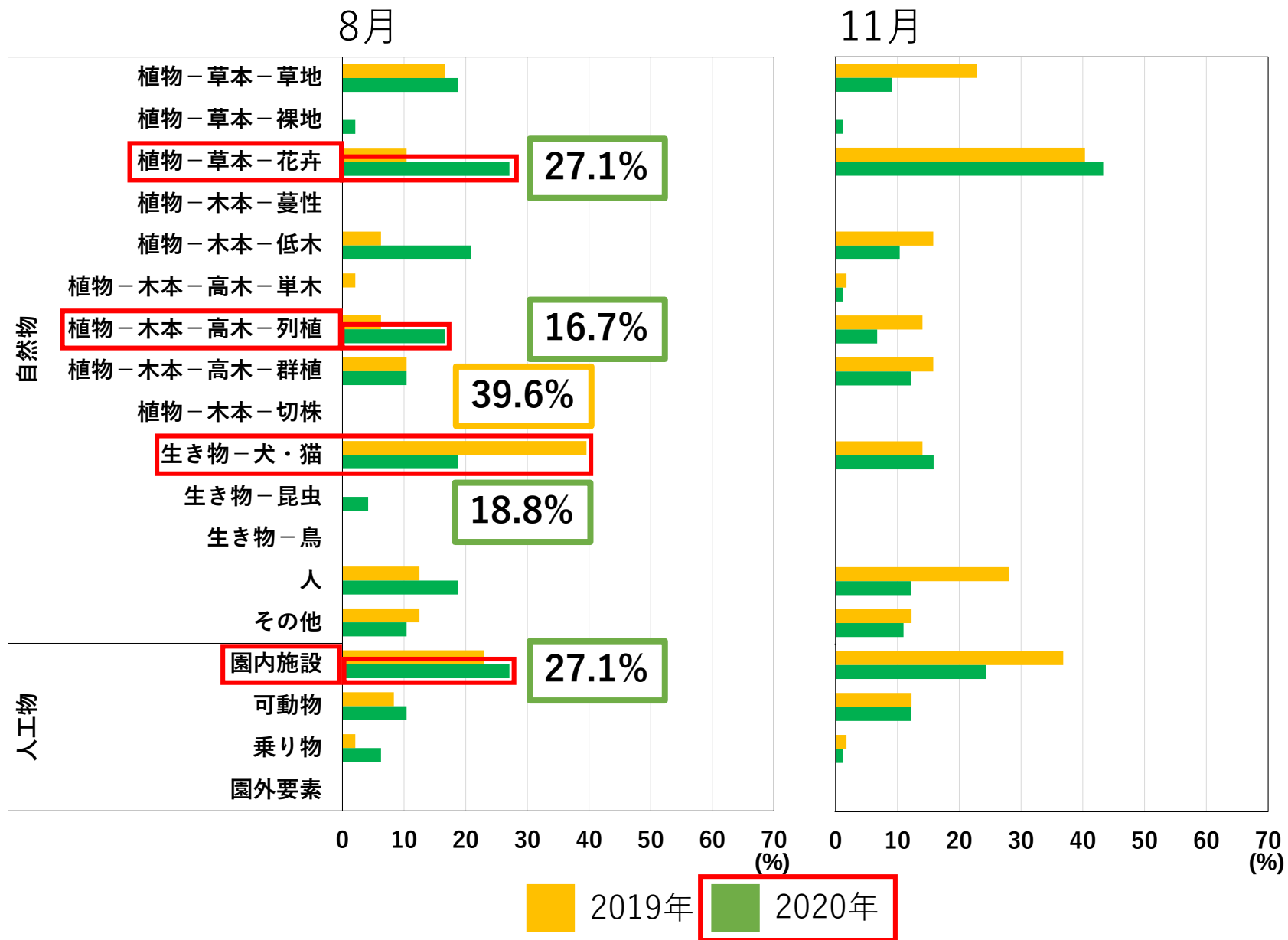
景の捉えられ方：図の要素



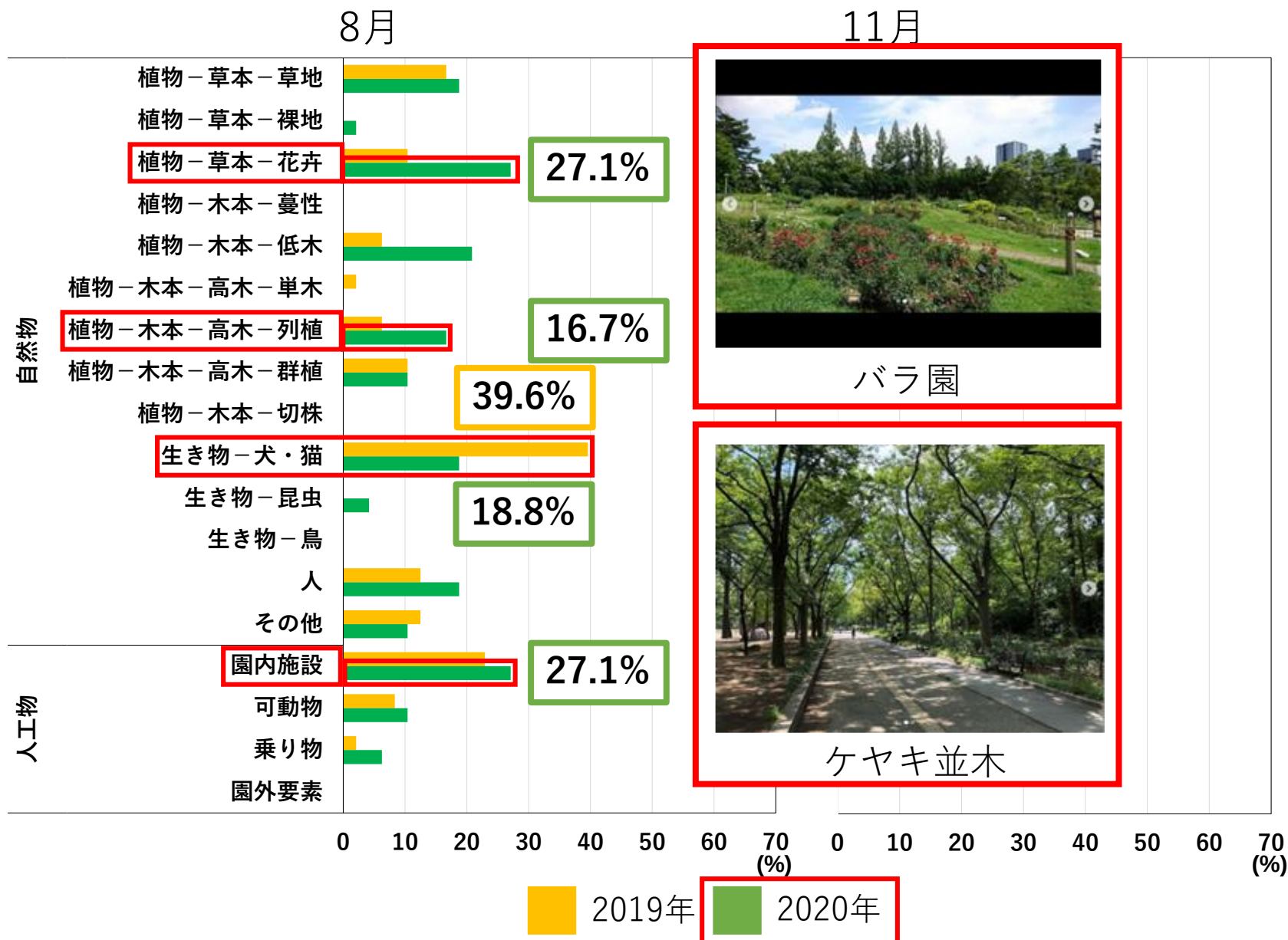
景の捉えられ方：図の要素



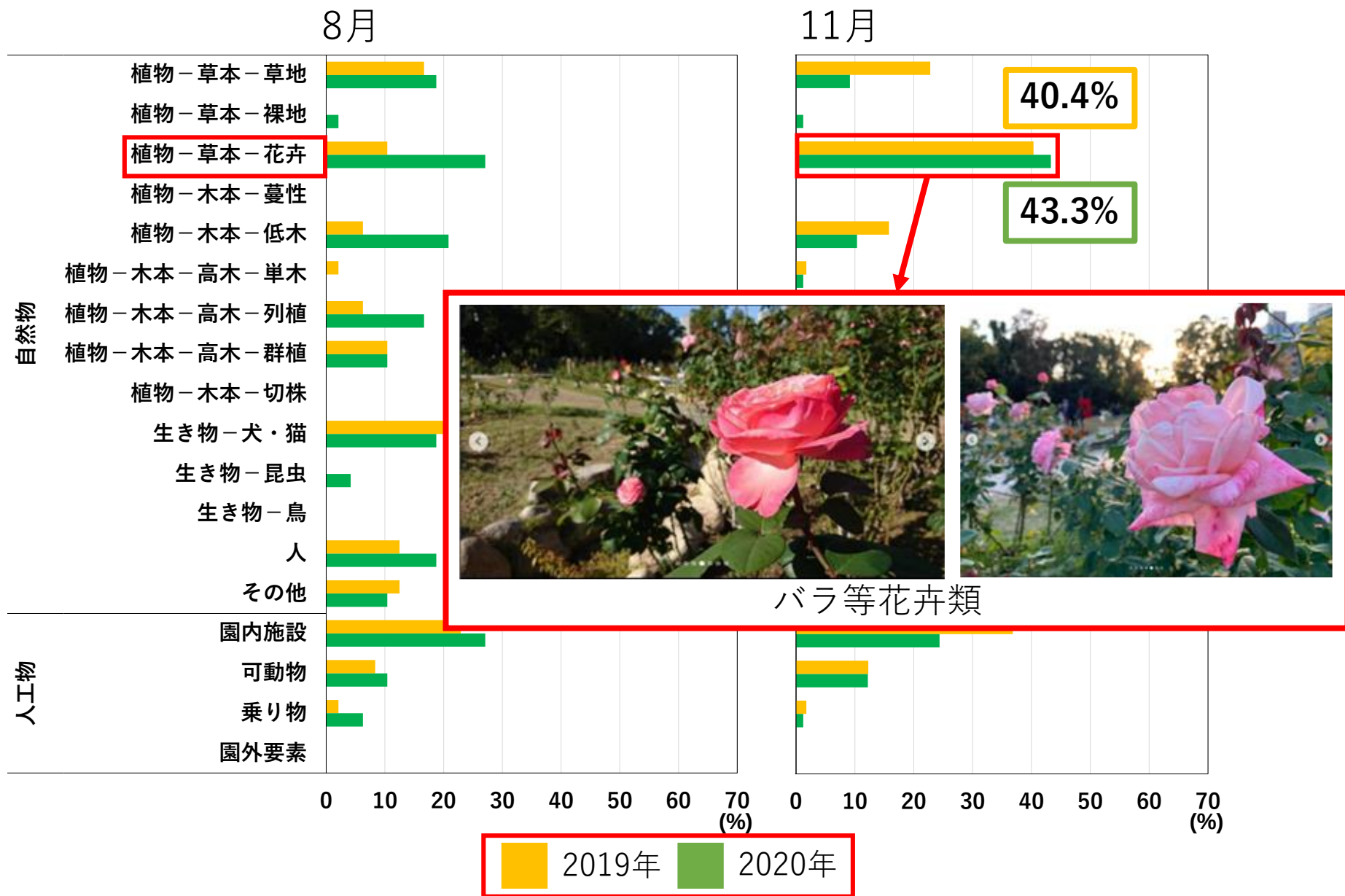
景の捉えられ方：図の要素



景の捉えられ方：図の要素



景の捉えられ方：図の要素



心情表現の調査方法

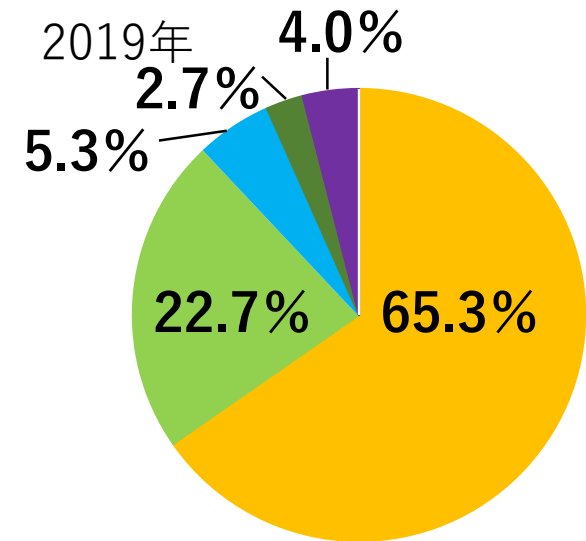
心情表現の抽出方法



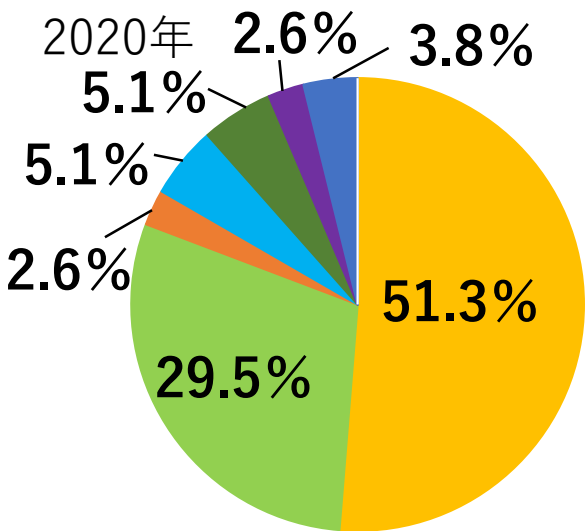
心情表現の分析方法

- ・形態素解析ソフト「Web茶まめ」で、「動詞」「形容詞」「形容動詞」「副詞」を抽出
→感情が表現されている語のみを抽出
- ・Plutchikの感情の輪
「喜び・信頼・期待・驚き・恐れ・嫌悪・悲しみ・怒り」の8感情に分類
→その感情に至った要因を特定

心情表現



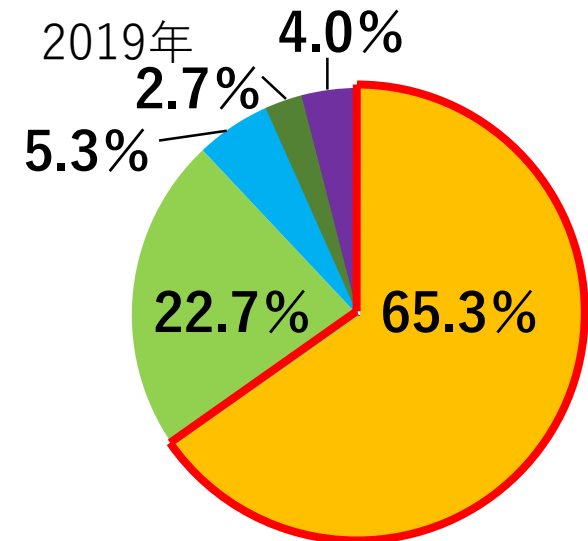
感情とその要因	
喜び	・バラが「好き」 ・色とりどりのバラを見て「楽しかった」。 ・韮公園で待ち合わせ散歩して「楽しかった」。 ・風が吹くとほんのり甘い香りがして「気持ちいい」。 ・お散歩しながら休憩して「幸せ」



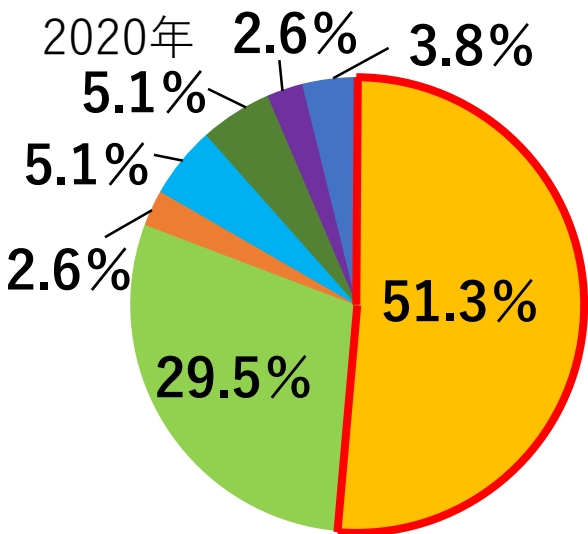
感情とその要因	
喜び	・バラを見て「楽しんだ」。 ・バラとケヤキが美しく「好き」。 ・木陰は心地よい風が吹いていて「気持ちいい」。 ・たっぷりウォーキングをして「スッキリ」 ・新緑と綺麗なお花を見て「スッキリ」 ・新緑が「爽やか」



心情表現



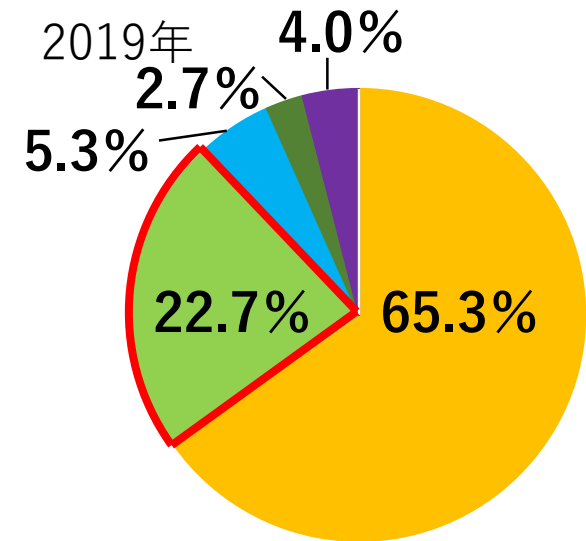
感情とその要因	
喜び	・バラが「好き」 ・色とりどりのバラを見て「楽しかった」。 ・韮公園で待ち合わせ散歩して「楽しかった」。 ・風が吹くとほんのり甘い香りがして「気持ちいい」。 ・お散歩しながら休憩して「幸せ」



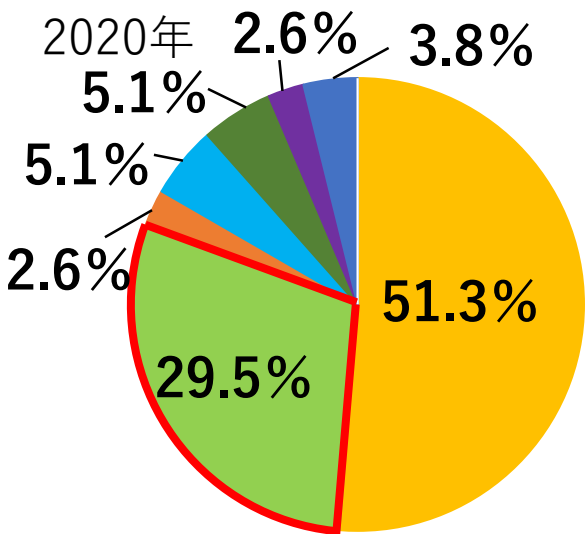
感情とその要因	
喜び	・バラを見て「楽しんだ」。 ・バラとケヤキが美しく「好き」。 ・木陰は心地よい風が吹いていて「気持ちいい」。 ・たっぷりウォーキングをして「スッキリ」 ・新緑と綺麗なお花を見て「スッキリ」 ・新緑が「爽やか」



心情表現



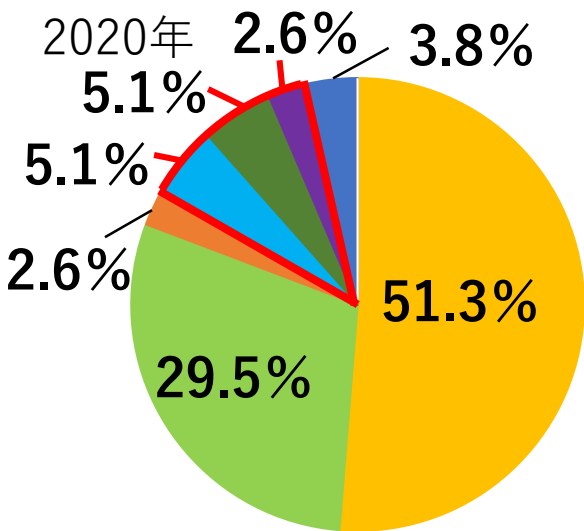
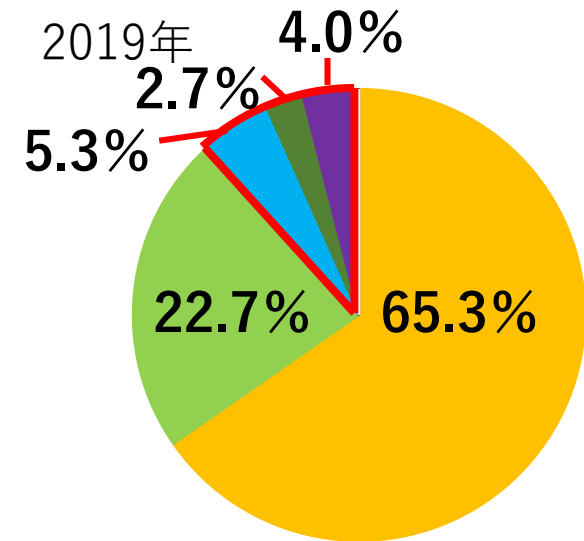
感情とその要因	
信 頼	・公園全体がバラの香りに包まれていて「癒される」。 ・バラが見頃だったので「癒された」。 ・大きな木に「癒される」。



感情とその要因	
信 頼	・濃厚な薔薇の香りに「癒される」。 ・韮公園の薔薇に「癒される」。 ・ケヤキの木漏れ日に「癒される」。 ・木陰とベンチが多くて「助かる」。



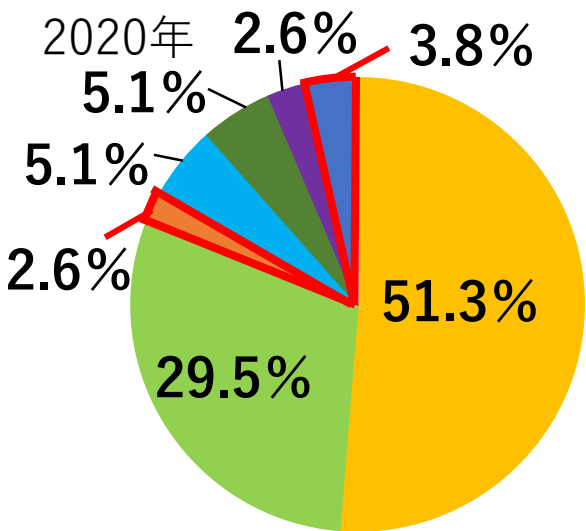
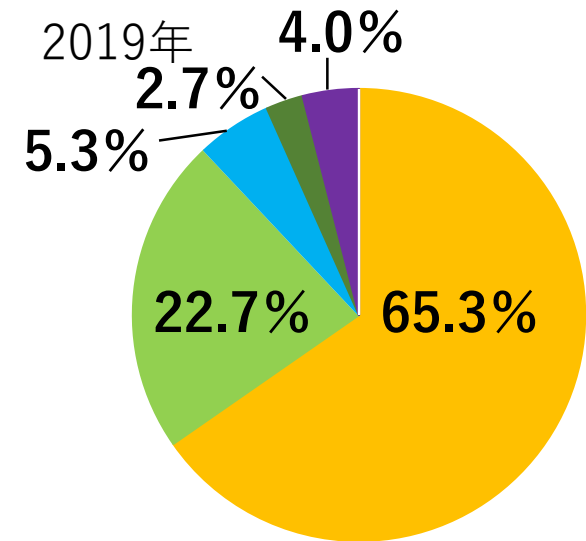
心情表現



感情とその要因	
驚き	- バラ園の薔薇がまだ咲いていて「驚いた」。 - 薔薇の種類が豊富で「驚いた」。 「思いがけず」バラの花が咲いていて、芳しい香りが漂っていた。
恐れ	韮公園名物の銅像が「不気味」
嫌悪	- 全体が一分咲きって感じで「残念」 「残念ながら」韮公園の薔薇園はほとんど終わりかけだった。

感情とその要因	
驚き	- テントを立てて休日を楽しんでる人が多くて「ビックリ」 「予想以上の」混雑具合 「予想以上に」人が多かった。
恐れ	地味に人が多いのが「気になる」。
嫌悪	噴水も水を止められていて「残念」

心情表現



感情とその要因

期待	
悲しみ	

感情とその要因

期待	・ 毎年この公園のこの薔薇が咲くのを「心待ち」にしている。
悲しみ	・ すっかり葉がなくなって「寂しい」。 ・ 韃公園が「寂しい」。

喜び
 信頼
 期待
 驚き
 恐れ
 嫌悪
 悲しみ
 怒り

コロナ禍における都心部の都市公園の捉えられ方

2019年（コロナ発生前）と2020年（コロナ禍）で共通の捉えられ方

景の捉えられ方

- ・バラや犬など
- 日常的な様子 of 単体景

心情表現

- ・バラをみることが「好き」「楽しい」

→コロナ禍の社会情勢においても変わらない**韌公園**の根幹的な捉えられ方

2020年（コロナ禍）にみられた捉えられ方

景の捉えられ方

- ・5月→バラ園
- ・8月→バラ園、ケヤキ並木
- 天蓋や周囲を樹木で囲まれた
緑豊かな空間景

心情表現

- ・緑が「爽やか」
- ・新緑をみて「スッキリ」
- 緑によるポジティブな感情



コロナ禍における都心部の都市公園は、花や緑が単体として認識されるだけでなく、木陰や風など身体的に感じられる広がりのある自然空間であること
→コロナ禍で家で過ごすことが増えた人々に癒しに加えて爽快感をもたらしている